

千厩地区まちづくり協議会報

第35号

令和元年12月25日発行

事務局 千厩市民センター内

電話番号 TEL 52-2309

「方言詩」で聴衆を魅了

～千厩市民センター70周年記念・特別講演会～



千厩公民館・千厩市民センター70周年を記念し当協議会は15日、21世紀地域づくり特別講演会を開催しました。

この講演会はIBCアナウンサー「菊池幸見」氏を講師に「わがまちばんざい！」～方言だって地域の宝～という演題で実施。

菊池アナはラジオで伝えた「方言詩」の中からピックアップしたものを、そのエピソードとともに紹介。

菊池アナのユーモア溢れるプロの話術で、方言の魅力をつつぷり語りました。



「ボケ」への理解深まる ～気仙ボケー座千厩公演～

また同日は、本会地域福祉部の企画で「気仙ボケー座」の皆さまの「寸劇公演」を実施。この劇団は、大船渡の認知症専門のデイサービスセンター職員が始めたボランティア劇団。

何気ない日常の場面からの内容で、観客からは「あ～、あるある…」「なるほど…」といった声もちらほら。

「ボケ」への理解を楽しくユーモラスに演じ、最後は「ボケないための十カ条」でまとめ、興味深いものでした。

劇には、本会地域福祉部員も演者などとして登場しました。



地域福祉部より

当部会では今年度事業として「地域の福祉活動の活性化」を目的に、各自治会のご協力をいただき福祉の取り組み状況を市民センター報に掲載します。皆さんの情報共有や参加意欲の向上に繋がれば嬉しく思います。

地域活動報告（第三町内自治会）

認知症について語り合うお茶会

このお茶会（カフェ）は毎月第2水曜日、千厩本町の市民活動センターサテライトを会場に開店しております。

認知症になっても地域で穏やかに暮らしていくために「認知症について語り合える場があるといいね」という趣旨で始めました。会場やお茶の準備は地区の保健推進委員が行い、支所より認知症地域支援推進員をお招きし、認知症について情報提供をいただいております。この活動は2年目になり、他の地区や千厩以外の地域からの参加もあります。

11月の活動は「お花を生けて感動を」をテーマに、花器を持ち寄り好きな花を思い思いに生けてみました。

軽体操や脳トレ、介護保険のサービスの利用の仕方、警察の方からは高齢者の運転や交通安全についての話をいただくなどして取り組んでいます。

認知症は、2025年には高齢者の5人に1人が発症すると言われており、誰でも予備軍と思われる身近な病気です。活動に興味のある方は、お気軽にご来店ください。



市民活動センターでのお茶会



お茶会参加者の生け花

千厩地区民祭は3月1日㊤に開催

千厩地区民祭実行委員会を23日、千厩市民センターで開催し来る3月1日㊤に開催することを決定しました。

主な実施企画は、「千厩地区民交流活動展」などの展示は10企画で「岩手芸術祭入賞者展」「私の思い出のもの見せまショー」も計画。

「本の読み聞かせ」などイベントは6企画で、「それいけ！アンパンマンショー」「もちまき」のほか新たに「カラオケのど自慢&JACK5オン・ステージ」を計画。

レクリエーションでは「ちびちゃんレース」と「自治会対抗玉入れ競技」。

販売では「食堂」「バザー」など4企画を行うことを申し合わせました。

なお、会場は千厩体育館、千厩武道館、千厩市民センターで、午前10時から午後3時までの開催予定としました。詳細については、今後、チラシやホームページなどでお知らせします。

